

基本目標 4：地域の人がつながり、支え合える安全・安心のまちづくり

■現状と課題

- ・本市の生産年齢人口（15～64 歳）は、2005 年（平成 17 年）を除いて、総人口同様に増加傾向を維持しているが、高齢化は着実に進展し、2010 年（平成 22 年）を境に年少人口の数を上回り、人口構造は変化しつつある【人口ビジョン頁 2 図 2】。
- ・特に、近年の高齢化の速さは著しく、2000 年（平成 12 年）の値を 100 とした場合、平成 22 年の高齢夫婦世帯が 175.1、単身の高齢者世帯が 200.8 と増加し、いずれも全国平均の値を上回っている【国勢調査】。
- ・市民意識調査によれば、地域活動への参加状況として、積極的に参加している人は 1 割前後に留まっている。また、近所づきあいについても、5 割が「あいさつをする程度」、1 割が「近所づきあいをしていない」結果となっており、地域コミュニティの希薄化が読み取れる【朝霞市市民意識調査、青少年アンケート】。
- ・地域防災力を向上させるため、地域における自助・共助の役割を担う自主防災組織の組織化の促進を図る必要がある。また、災害応援協定の実効性を高めるため、相手自治体との交流を深める必要がある。

■目標

年齢や障害の有無、国籍などに関係なく、みんなが交流し、支え、助け合う、安全・安心な地域づくりを進める。また、増加することが想定される高齢者の医療費や介護ニーズへ対応するとともに、高齢者の健康づくりや地域参加のサポートなど、地域コミュニティを活性化することで、人と人がつながり、生きがいを持って安心して暮らし続けられるまちを目指す。

取組方針

（１）さまざまな人々が相互に支え合うまちづくり

子どもから、高齢者、障害のある人、外国人まで、さまざまな人を受け入れることができ、相互に支え、助け合うことができる地域づくりを進める。

（２）人と人がつながり、健康で一人ひとりが自分の生きがいを持てる地域づくり

地域において、人と人がつながり、健康で一人ひとりが自分の生きがいを持つことができるよう、文化・スポーツ活動や社会貢献活動を支援する。

（３）地域防災の連携を図り、災害時に対応できるまちづくり

災害時に効果的な防災活動を行えるよう、自主防災組織の活動を支援する。また、遠隔地の市町村と締結した災害時相互応援協定について、協定の実効性を高めるために、平常時から顔の見える交流を行う。

数値目標	現状値	目標値（H31）
元気高齢者率 （第 1 号被保険者のうち、要支援・要介護認定を受けていない方の割合）	86% （H26）	82%
市内の世帯数に対する各自治会・町内会加入率	47.1% （H26）	48.0%
市民活動団体数 （市に登録している団体数）	459 団体 （H25）	466 団体

■具体的な施策・施策ごとの重要業績評価指標（KPI）

（１）さまざまな人々が相互に支え合うまちづくり

①多世代・多文化交流の促進			
- 子どもから、高齢者、障害のある人、外国人まで、さまざまな人を受け入れることができるよう、新たな自主活動や交流の場、機会を創出する。 - 多言語で情報を発信するとともに、異なる文化や習慣への偏見をなくし、相互理解を促進する。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
多世代が交流できる機会の創出	0 (H26)	5箇所（各圏域）	
多文化推進サポーター実働回数	17回 (H25)	17回	
主な取組			
交流機会の創設 多世代の人たちが交流できるよう、各圏域に交流の機会がもてる施設やコミュニティを整備する。			
多文化共生の推進 多言語で情報を発信する。また、多文化推進サポーターを募集し、活動の場をマネジメントする。			

②コミュニティ活動の活性化			
市民が相互に連携し、主体的にまちづくりに参加するように意識高揚を図るとともに、自治会・町内会及びコミュニティ関係団体の活動を支援する。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
自治会・町内会加入率	47.1% (H26)	48.0%	
市民活動団体数	459団体 (H26)	466団体	
主な取組			
町内会・自治会の活動支援 地域住民の連携や協力の意識が高まるよう、地域コミュニティの基本組織である自治会・町内会の活動の活性化を支援する。			
コミュニティの推進 市民が相互に連携し、主体的にまちづくりに参加するように意識高揚を図るとともに、コミュニティ関係団体の活動を支援する。			
彩夏祭開催の支援 ※基本目標2－（２）－① コミュニティ活動の推進を図るため、イベントの継続開催を支援する。			

③公共施設及びインフラの戦略的なマネジメントの推進			
・地域における人と人とがつながり、活動する場の一つである公共施設について、時代のニーズに合った施設の構成及び運営の在り方等を検討するとともに、財政的に持続可能な施設数に統廃合及び集約する等、戦略的な公共施設のマネジメントを推進する。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定割合	未策定 （H26）	策定	
主な取組			
公共施設等総合管理計画の策定及び進行管理 ・公共施設等総合管理計画を策定するとともに、当該計画の進行管理を適切に実施し、公共施設及びインフラの戦略的なマネジメントを推進する。			

(2) 人と人がつながり、健康で一人ひとりが自分の生きがいを持てる地域づくり

①健康・生きがいづくりの支援			
・スポーツ・レクリエーション、文化、生涯学習活動など、新たな自主活動や交流の場、機会の創出を支援します。 ・介護予防の理解促進に努めるとともに、高齢者の体操教室や講習会等を実施し、高齢者の健康施策を推進します。 ・市内事業者との連携を推進し、シルバー人材センターの充実を支援するとともに高齢者の就労機会の確保を図ります。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
文化祭参加者数	15,000 人 (H27 見込み)	15,300 人 (H30)	生涯学習・スポーツ課資料
市民体育祭参加者数	8,500 人 (H26)	10,000 人 (H30)	生涯学習・スポーツ課資料
元気高齢者率 (第1号被保険者のうち、要支援・要介護認定を受けていない方の割合)	86% (H26)	82%	
主な取組			
芸術文化の振興 ・朝霞市文化祭を毎年開催し、芸術文化の振興を図る。			
スポーツ団体等の補助 ・市民体育祭等を開催し、スポーツ・レクリエーションの振興を図る。			
生きがいづくり・活動の支援 ・高齢者が生きがいを持ち、健康的に過ごせるよう、介護予防講習会などを行い、高齢者の健康意識向上を推進する。 ・老人クラブの活動を支援するとともに、浜崎及び溝沼老人福祉センター事業の充実を図る。			
シルバー人材センターの支援 ・働く意欲のある高齢者の就業の場を確保するため、働く意欲のある高齢者の能力や経験を活用できる就業の場を確保する事業を実施する公益社団法人朝霞地区シルバー人材センターの運営を支援する。			

②市民活動・社会貢献活動の推進			
・NPOなどの市民活動団体を育成するとともに、市民による社会貢献活動を支援する。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
市民活動支援ステーション施設の 利用団体数	459 団体 （H25）	466 団体	
主な取組			
市民活動団体の育成支援（市民活動支援ステーション運営事業） ・市民活動支援ステーション・シニア活動センターにおいて、市民活動団体の運営や活動などに役立つ機器や備品を整備するとともに、利用しやすい施設の維持管理をすることで、市民活動の一層の活性化を図る。			

(3) 地域防災の連携を図り、災害時に対応できるまちづくり

①地域防災の連携			
・地域における人々が、相互に支え、助け合い、安心して地域で暮らせるよう、自主防災組織の結成を促進する。 ・災害時相互応援協定締結先との交流を深め、協定の実効性を高める。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値	目標値（H31）	備考
自主防災組織の組織率	79.9% (H26)	85.0%	
災害時相互応援協定先との交流回数	年 1 回 (H26)	年 3 回	1 団体あたり
主な取組			
防災啓発活動の推進 ・地域コミュニティの一環として、自主防災組織を結成し、訓練等を行うことによって、災害時等における被害を最小限にする。			
防災対策の拡充 ・災害時の応援協力を要請できるよう、近隣又は遠隔地の市町村と相互応援協定を締結する。			